

研究情報公開資料（オプトアウト用）

この公開情報をご覧になって、

1. ご自身が研究の対象になっているのかがよくわからない
2. 研究の内容や利用される試料・情報について詳しく知りたい
3. ご自身の情報が研究に用いられることを拒否したい

～この場合はお申し出により、試料や情報の研究への利用を停止します

などの場合は、下記 12.の「お問い合わせ先」までご連絡ください

研究管理番号 (受付番号)	YCR18015
1 研究課題名	人間ドックにおける DXA 法による骨密度測定結果からの検討
2 研究機関および 研究責任者 (研究分担者) (共同研究機関)	研究機関 医療法人社団あんしん会 四谷メディカルキューブ 研究責任者 健診センター 医師 宮武佳子 研究分担者：同センター 保健師 越智周子、沼田瑞枝
3 研究期間 調査期間	研究期間 開始:院長許可後 ～ 終了:2019年12月31日 情報等調査期間 開始:2016年10月1日 ～ 終了:2019年12月31日
4 研究の背景・目的 ・意義・方法等	背景:当施設の間人ドックでは全例に DXA 法による大腿骨近位部の骨密度検査を実施しています。骨粗鬆症は女性に多い疾患ですが、男性でも骨粗鬆症による骨折後の予後は悪く、男女を問わず骨粗鬆症の診断治療を適切に行うことは重要であり、骨折予防や骨量低下予防への支援も人間ドック施設の重要な役割であると考えています。目的:①骨量低下者の特徴を生活習慣や他の検査結果との関連を明らかにします。②ドック受診後の骨粗鬆症の治療状況について追跡調査を行い、対象者への適切な指導の方法を検討します。
5 研究の対象 となる方	対象は 2016 年 10 月から 2017 年 12 月まで当院人間ドックを受診し DXA 検査を受けた 2191 名(男性 1337 名、女性 854 名)の受診者様。
6 試料・情報等の 利用目的、利用方法	7 を用いて骨密度低下者について生活習慣や検査結果との関連を明らかにし、適切な保健指導の方法を検討します。
7 研究に用いる試料・ 情報の種類(項目)	DXA 法を用いた左大腿骨近位部の骨密度、年齢、性別、体重、血液検査項目、呼吸機能検査項目、問診で聴取した生活習慣、電子カルテ上の受診情報を利用します。
8 試料・情報を利用 する者の範囲	上記 2 と同じ範囲の者
9 試料・情報の 管理責任者	上記 2 に示した研究責任者
10 計画書等の閲覧	研究計画書及び研究の方法に関する資料を閲覧可能です。 下記 12.のお問い合わせ先までご連絡ください。ただし、知的財産権の保護等に支障がある場合は閲覧できないこともあります。
11 その他の開示 すべき情報	個人情報については、一定の条件の下で開示可能です。 下記 12.のお問い合わせ先までご連絡ください。ただし、他の対象者の個人情報に支障があるなどの場合は開示できないこともあります。
12 お問い合わせ先	試料・情報が研究に用いられることについて、ご本人(あるいは代理人)が了承されない場合は、下記の連絡先までお申し出ください。 四谷メディカルキューブ 健診センター 宮武佳子 〒102-0084 東京都千代田区二番町 7-7 電話 03-3261-0401 FAX 03-3261-0417

診療情報を研究に用いるにあたっては、個人情報保護のため個人を識別できない状態にして 6.の目的のためだけに使用します。また研究成果を学会や論文で発表する際は、「個人を特定できる情報を削除した上でデータ処理、解析」したものを使用します。